

IIAS NEWSLETTER

International Institute for Advanced Studies

June 2008

60

 財団法人
国際高等研究所

<http://www.iias.or.jp>

INDEX

| | |
|-----------|---|
| 報告 | ・研究活動報告(4月1日～5月31日) |
| 報告 | ・2008年度科学研究費補助金(特定奨励費)交付決定 |
| 紹介 | ・2008年度研究テーマ別プロジェクト一覧 ・2008年度フェロー・学術参与 |
| 紹介 | ・北川副所長に中国人民大学法学院の客員教授の称号を授与(5月8日～9日) |
| 報告 | ・春の高等研イベント実施報告(3件) |
| 案内 | ・2008年度刊行予定の高等研報告書 |
| IIASカレンダー | ●研究活動(6月1日～8月31日) ●理事会・評議員会 |
| お知らせ | ●「夏期エコスタイル運動」の実施 |

報告

研究活動報告(4月1日～5月31日)

研究プロジェクト

| 研究プロジェクトのタイトル | 開催日 | 研究代表者 | 参加者数 |
|---|-------------------|-------|------|
| 共同研究の法モデル | 4月 4日(金)～5月27日(火) | 北川善太郎 | 延べ59 |
| 「民法の未来像」(フォーラム) | 5月 1日(木) | 北川善太郎 | 14 |
| IIASフェロー研究会「ポルフィリン誘導DDS型癌医療研究会」 | 5月14日(水)・16日(金) | 中井 浩二 | 19 |
| 「エネルギー科学における多階層連結コンピューティング」(フォーラム・幹事会) | 5月17日(土) | 三間 園興 | 16 |
| 音声～音声の音響的特長と感情表現～ | 5月20日(水)～21日(木) | 藤村 靖 | 6 |
| 近代精神と古典解釈：伝統の崩壊と再創造 | 5月23日(金)～24日(土) | 手島 勲矢 | 13 |
| 文化財保全技術(幹事会) | 5月29日(木) | 志水 隆一 | 11 |
| 文化財保全技術 | 5月29日(木) | 志水 隆一 | 30 |
| 多元的世界観の共存とその条件 ～閉ざされた世界から開かれた世界へ～(フォローアップ研究) | 5月30日(火)～31日(水) | 石川 文康 | 9 |

イベント

| イベント名称 | 開催日 | 講師 | 参加者数 |
|-------------------------------------|----------|-------|------|
| 高等研「雅松庵」茶会 | 5月17日(土) | 本間 宗壽 | 290 |
| 第3回合同見学会(IIAS・RITE・OMRON) | 5月22日(木) | — | 250 |
| 公開講演会「洛中洛外図を楽しむ～上杉本(狩野永徳筆 国宝)を中心に～」 | 5月31日(土) | 山本 英男 | 125 |

本年度科学研究費補助金(特定奨励費)について、「人類社会の調和的発展のための問題解決の統合システム創造に係る基礎研究」を包括的課題として補助金の交付申請を行っていましたが、5月19日付けにて文部科学省から交付決定通知がありました。

本年度交付額は前年度と同額の3,900万円です。

異文化の理解と交流・異文化の共存

- ① 近代精神と古典解釈:伝統の破壊と再創造
- ② 19世紀東アジアにおける国際秩序観の比較研究

スキルと感受性

- ⑫ スキルと組織

比較文化

- ③ グローバリゼーションと市民社会
- ④ スンマとシステム一知のあり方
- ⑤ 数量的アプローチによる日本経済の比較史的研究

情報と人間

- ⑩ 絵画と文字に表象される、時間と空間の脳による認識

未来社会の諸課題

- ⑮ 女性研究者と科学技術の未来

〈人の心〉 〈社会〉

先端技術と文化

- ⑬ 音声—音声の音響的特長と感情表現—
- ⑯ 次世代情報サーチに関する総合的研究
- ⑰ 文化財保全技術

〈人工物を含む自然と数理〉 〈生命〉

生命科学と社会

- ⑭ 生命科学の発展に対応した新しい社会規範

研究基盤形成

- ⑳ 学術研究機関における学術情報システムのモデル構築
- ㉑ 共同研究の法モデル

基礎理工学と先端技術

- ⑪ ナノ量子物質相の科学
- ⑬ メタマテリアルの物理と応用
- ⑰ 高度計測技術の発展と埋没

生命の諸様相

- ⑥ 細胞履歴に基づく植物の形態形成
- ⑦ 絶滅と再生の生物学

複雑系と進化

- ⑧ 生物進化の持続性と転移
- ⑨ 認識と運動における主体性の数理脳科学
- ⑬ 創発研究の新しい展開
- ⑰ すさまの組織化

2008年度の **研究プロジェクトと研究代表者(1)**

異文化の理解と交流・異文化の共存

① 近代精神と古典解釈:伝統の崩壊と再創造 (新規3年計画、第1年次)

研究代表者:手島 勲矢(企画委員/同志社大学大学院神学研究科教授)

② 19世紀東アジアにおける国際秩序観の比較研究 (第3年次)

研究代表者:吉田 忠(フェロー・特別委員/東北大学名誉教授)

比較文化

③ グローバリゼーションと市民社会 (第3年次)

研究代表者:仁科 一彦(特別委員/大阪大学大学院経済学研究科教授)

④ スンマとシステム—知のあり方— (第2年次)

研究代表者:亀本 洋(企画委員/京都大学大学院法学研究科教授)

⑤ 数量的アプローチによる日本経済の比較史的研究 (新規3年計画、第1年次)

研究代表者:宮本 又郎(フェロー・特別委員/大阪大学名誉教授/関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科教授)

生命の諸様相

⑥ 細胞履歴に基づく植物の形態形成 (第2年次)

研究代表者:鎌田 博(企画委員/筑波大学大学院生命環境科学研究科教授・同遺伝子実験センター長)

⑦ 絶滅と再生の生物学 (新規3年計画、第1年次)

研究代表者:長谷川真理子(総合研究大学院大学先端科学研究科教授)

複雑系と進化

⑧ 生物進化の持続性と転移 (第2年次)

研究代表者:津田 一郎(特別委員/北海道大学電子科学研究所教授)

⑨ 認識と運動における主体性の数理脳科学 (第3年次)

研究代表者:沢田 康次(フェロー・特別委員/東北大学名誉教授/東北工業大学学長・理事)

情報と人間

⑩ 絵画と文学に表象される、時間と空間の脳による認識 (新規3年計画、第1年次)

研究代表者:近藤 寿人(企画委員/大阪大学大学院生命機能研究科教授)

基礎理工学と先端技術

⑪ ナノ物質量子相の科学 (新規3年計画、第1年次)

研究代表者:金森順次郎(国際高等研究所長/大阪大学名誉教授)

スキルと感受性

⑫ スキルと組織 (第3年次)

研究代表者:榎木 哲夫(特別委員/京都大学大学院工学研究科教授)

2008年度の**研究プロジェクトと研究代表者(2)**

⑬ 高度科学技術に伴う広域・学際的諸課題(総括作業グループ)

研究代表者:金森順次郎(国際高等研究所長/大阪大学名誉教授)

〈作業グループ〉

基礎理工学と先端技術 i. メタマテリアルの物理と応用

研究代表者:石原 照也(東北大学大学院理学研究科教授)

複雑系と進化 ii. 創発研究の新しい展開

研究代表者:安富 歩(東京大学東洋文化研究所准教授)

先端技術と文化 iii. 音声-音声の音響的特長と感情表現-

研究代表者:藤村 靖(フェロー/オハイオ州立大学名誉教授)

生命科学と社会

⑭ 生命科学の発展に対応した新しい社会規範の構築(第3年次)

研究代表者:位田 隆一(特別委員/京都大学大学院公共政策連携研究部教授)

未来社会の諸課題

⑮ 女性研究者と科学技術の未来(第2年次)

研究代表者:伊藤 厚子(フェロー・特別委員/お茶の水女子大学名誉教授/理化学研究所研究嘱託)

先端技術と文化

⑯ 次世代情報サーチに関する総合的研究(第2年次)

研究代表者:田中 克己(企画委員/京都大学大学院情報学研究科教授)

基礎理工学と先端技術

⑰ 高度計測技術の発展と埋没(第2年次)

研究代表者:本河 光博(フェロー・特別委員/東北大学名誉教授/科学技術振興機構先端計測技術推進部
プログラムオフィサー)

先端技術と文化

⑱ 文化財保全技術(第3年次)

研究代表者:志水 隆一(上級研究員/大阪大学名誉教授)

複雑系と進化

⑲ すきまの組織化(第2年次)

研究代表者:鳥海 光弘(特別委員/東京大学大学院新領域創成科学研究科教授)

研究基盤形成

⑳ 学術研究機関における学術情報システムのモデル構築(第4年次)

研究代表者:北川善太郎(国際高等研究所副所長/京都大学名誉教授/コピーマート研究所理事長)

㉑ 共同研究の法モデル(第6年次)

研究代表者:北川善太郎(国際高等研究所副所長/京都大学名誉教授/コピーマート研究所理事長)

2008年度フェロー

高等研において自らの研究や研究者交流を目的として招へいする本年度フェロー(6月26日現在)は前年度からの継続フェロー7名です。

【前年度からの継続】

王 士元 (William Shi-Yuan WANG) :

香港市大学工学部教授(言語学)

小林 誠 : 日本学術振興会理事・高エネルギー加速器研究機構名誉教授(素粒子理論)

合志 陽一 : 筑波大学監事・前国立環境研究所理事長・東京大学名誉教授(工業分析化学)

高野 幹夫 : 京都大学物質-細胞統合システム拠点特定拠点教授・京都大学名誉教授(固体化学)

中井 浩二 : 高エネルギー物理学研究所名誉教授(原子核・加速器・高エネルギー)

阿部 博之 : 科学技術振興機構顧問・東北大学名誉教授(固体力学)

堀内 昶 : 大阪大学核物理研究センター協同研究員・京都大学名誉教授(原子核理論)

2008年度学術参与

高等研において、所長の諮問に応じ、研究事業の企画、立案及び研究所の運営などについて助言及び提言を行う学術参与(6月26日現在)は5名です。

【2007年度委嘱】

齋藤 恭司 : 京都大学数理解析研究所教授(複素解析学)

大矢 雅則 : 東京理科大学理工学部教授・理工学研究科長(数理科学)

田中 成明 : 関西学院大学大学院司法研究科教授・京都大学名誉教授(法理学)

鷲田 清一 : 大阪大学総長(倫理学)

【2008年度委嘱】

石川 文康 : 東北学院大学教養学部教授(哲学)

北川善太郎副所長が5月8~9日、北京の中国全人大常務委員会法制工作委员会民法室・中国人民大学法学院共催の「民法体系国際シンポジウム」(全人大会議中心)に招待され、日本・ドイツ・韓国・台湾の専門家9名が予め王勝明民法室主任が提出した中国民法典立法ならびに民法典体系にかかる5つの質問について意見を述べ、活発な討議がされた。

シンポジウム終了後、外国からの会議参加者は人民大学法学院に招かれ、法学院長王利明教授から客員教授の称号を授与され、引き続き学生に対して各国の不法行為法について講演をしました。



中国人民大学法学院長 王利明教授(左)から授与

E v e n t

春の高等研イベント実施報告（3件）

第9回高等研茶会を開催

5月17日

（財）今日庵との共催及び（株）福寿園後援による第9回高等研「雅松庵」茶会を開催しました。

大宗匠千玄室氏から寄贈いただいた茶室「雅松庵」での本席に加え、車いすの方にもご参加いただけるようセミナーラウンジに立礼席を設け、幅広い世代の方々にお茶を楽しんでいただきました。

高等研茶会は裏千家正教授本間宗壽先生と社中の皆さま、及びIIAS倶楽部のボランティアの方々のご協力で、今年も盛会に終了しました。

当日はお天気にも恵まれた爽やかな五月晴れの下、定員を大幅に上回る290名の参加となりました。

毎年この日を楽しみにしてくださっている方々をはじめ、学校の茶道部所属の学生さんや初めて参加されたグループの方々など、多くの参加者の笑顔があふれる会場となりました。



本席茶道具



立礼席／セミナーラウンジ



立礼席／セミナーラウンジ



茶室「雅松庵」を前庭から



本席「雅松庵」

第3回合同見学会を開催

5月22日

近隣の皆様を対象に高等研、(財)地球環境産業技術研究機構及び、オムロン(株)イノベーションセンタの3機関合同での見学会を開催しました。3回目となった今回は、約250名もの方々にご来場いただき、総合説明や施設見学を通して、理解を深めていただくよい機会となりました。

高等研では茶室「雅松庵」や庭園の公開、恒例のミニコンサートも実施し、いつもは静かな高等研も楽器の音色に包まれました。ご参加いただいた皆さまには、ゆったりとした空間でのひと時を過ごしていただきました。

今後も身近で開かれた高等研を目指し、より一層の情報公開をしていきます。



ミニコンサート/コミュニティーホール

いつ来ても(講演会・茶会含めて)心が落ち着きます。できれば、あと数回の場所に来所できる機会を。

3機関以外のところとも連携して、公開してほしい。

参加者の声

コンサートがよかったです。

研究には、素晴らしい環境だと思いました。

このような機会がなかなかないので貴重な時間だった。

遠い存在でしたが、このような機会です身近なものになりました。

京都銀行協賛による公開講演会を開催

5月31日

京都銀行協賛の2008年度第1回目の公開講演会を開催しました。

講師に山本英男 京都国立博物館美術室長をお招きし「洛中洛外図を楽しむ～上杉本(狩野永徳:国宝)を中心に～」のテーマでの講演には、125名の方々が参加されました。

上杉本の細部を映すたくさんのスライドを使った山本室長の的確で楽しい解説に聞き入り、絵が描かれた時代の京の町並みと都人の暮らしに想いを馳せました。

また、会場でいただいた貴重なご要望やご感想等のアンケートは次回へ反映させていきたいと思っております。



山本英男室長



講演会場風景

参加者アンケートから(抜粋)

- 肩が凝らない面白話を一流の講師にお聞かせ戴いた。
- 当時の歴史的背景が分かるような絵で、大変興味深かった。更に詳しく勉強してみたいと思う。
- ひとつの題材に添ってお話していただけ良かった。学校での授業もこんなだったら、もっと勉強しただろうなと思いました。
- 洛中洛外図の実物が見たくなりました。
- 当時の風俗についても説明があり、良く理解できた。
- 開催回数を年6回くらいに増やしてください。
- 身近なテーマをレクチャーいただければと思う。

上記以外にも、たくさんのご感想・ご意見が寄せられました。

| No. | 研究年度 | フォローアップ 研究年度 | 報告書名 | 研究代表者 |
|-----|-----------|-----------------|-----------------------------------|--------|
| 702 | 2002～2004 | 2005 | 思考の脳内メカニズム | 波多野諄余夫 |
| 705 | 2003～2005 | 2006 | 量子情報の数理に関する研究 | 大矢 雅則 |
| 708 | 2004～2006 | なし | 隙間～自然・人間・社会の現象学～ | 鳥海 光弘 |
| 801 | 2004～2006 | なし | ダイナミクスからみた生命的システムの進化と意義 | 津田 一郎 |
| 802 | 2003～2006 | 2007 | 21世紀の宇宙開発・宇宙環境利用の問題～人文社会学からのアプローチ | 木下 富雄 |
| 803 | 2003～2006 | なし | 産学連携の知的財産法モデル | 北川 善太郎 |
| 804 | 2003～2006 | 2007 | 学習の生物学 | 星 元紀 |
| 805 | 2004～2006 | なし | 芸術と社会～芸術における伝統と革新の問題～ | 佐々木 正子 |

IIAS カレンダー

(変更する場合があります)

(6月1日現在)

●研究活動(6月1日～8月31日)

| 開催予定日 | 研究プロジェクトのタイトル | 研究代表者 |
|-----------------|---|-------|
| 6月 5日(木)、12日(木) | 共同研究の法モデル | 北川善太郎 |
| 6月 6日(金)～ 7日(土) | 2008年度第1回企画委員会 | 金森順次郎 |
| 6月14日(土) | 細胞履歴に基づく植物の形態形成 | 鎌田 博 |
| 6月14日(土)～15日(日) | すきまの組織化 | 鳥海 光弘 |
| 6月16日(月) | ナノ物質量子相の科学(幹事会) | 金森順次郎 |
| 6月19日(木) | 創発研究の新しい展開 | 安富 歩 |
| 6月27日(金)～28日(土) | 生物進化の持続性と転移 | 津田 一郎 |
| 7月 4日(金)～ 5日(土) | 「エネルギー科学における多階層連結コンピューティング」(フォーラム) | 三間 園興 |
| 7月 8日(火) | ナノ物質量子相の科学(日本学術振興会研究開発専門委員会設立総会) | 金森順次郎 |
| 7月15日(火) | 共同研究の法モデル(JICAとの合同開催) | 北川善太郎 |
| 7月17日(木) | 次世代情報サーチに関する総合的研究 | 田中 克己 |
| 7月18日(金) | IIASフェロー研究会「科学技術と知の精神文化～新しい科学技術文化の構築に向けて」 (独立行政法人科学技術振興機構社会技術研究開発センターとの合同開催) | 阿部 博之 |
| 7月19日(土) | スキルと組織 | 榎木 哲夫 |
| 7月19日(土) | メタマテリアルの物理と応用 | 石原 照也 |
| 8月 5日(火)～ 7日(木) | 近代精神と古典解釈:伝統の崩壊と再創造 | 手島 勲矢 |

●理事会・評議員会

| 開催日 | 事項 | 内容 |
|----------|------------------|------------------------------|
| 6月17日(火) | 第62回理事会・第56回評議員会 | 2007年度事業報告書及び収支決算(案)の承認等について |



お・知・ら・せ

「夏季エコスタイル運動」の実施

本年も6月～9月末日までの期間は、夏季における省エネルギーの推進のため、事務所内の冷房設定温度の目標を28℃とすると共に、その取組みを補完するため、「夏季エコスタイル運動」を実施します。

この期間に国際高等研究所にお越しの際は、できるだけエコスタイル(ノー上着、ノーネクタイ)にてお越しいただきますようお願いいたします。

編集・発行者

財団法人 国際高等研究所

〒619-0225 京都府木津川市木津川台9丁目3番地

TEL: 0774-73-4000 FAX: 0774-73-4005

http://www.iias.or.jp